

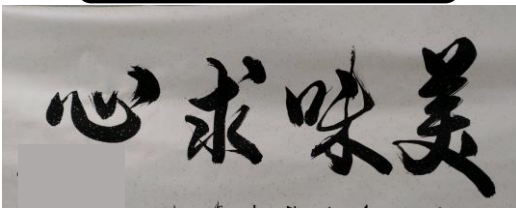
## 心に残る言葉

12月上旬に、県立A高校と県立B高校を訪問する機会がありました。

A高校は、本校の食物科と同様に厚生労働大臣指定の調理師養成施設校として認可されている高校です。また、B高校は、園芸科、食品科のように農業科のみを設置している高校です。

2つの高校を訪問して心に残った言葉を紹介します。

### A高校 美味求心



A高校の調理室の前の廊下の壁に、「美味求心」と記された書が掲示してありました。

「美味求心」という言葉は、辞書を引いても、インターネットで検索してありませんでした。私なりに解釈すると読んで字の如く「美味しい食を追求する心」だと思えます。

本校では将来、調理、食品製造、食品加工等に従事する生徒が多いと思えます。また、野菜栽培・果樹栽培等、農業を営む生徒もいます。

「美味しさを追求する心」を常に持ち、一流の職人になることを期待しています。

### B高校 時を守り 場を清め 礼を正す

B高校は「時を守り 場を清め 礼を正す」を教訓にしています。この言葉は、明治生まれの哲学者・教育者の森信三先生が提唱した言葉です。

時を守り：「時間を守る」ことです。「時間

を守る」先には、必ず相手があります。相手の時間を大切にすることは、相手を尊重することにつながるとともに、自分の信用や信頼を積み重ねることにもなります。

場を清め：「掃除をする」ことです。ゴミを拾う、汚れを落とすことは自分の心をも磨くことにもつながります。また、誰かが掃除等をしている姿を見ることにより感謝の心が芽生えます。

礼を正す：「挨拶をする、返事をする、服装を正す」ことです。挨拶をすることは人間関係を構築する基本です。また、返事も同じで、呼ばれたら「はい」と応えることで人間関係を良好にします。

東京都立農業高等学校で学ぶ全ての生徒が気持ちよく高校生活を送るために、「時を守り 場を清め 礼を正す」を実践していくことを願っています。

## 令和3年度第2学期 終業式

時間が経つのは早いもので、第2学期の終業式を迎えました。令和3年も今日を入れて、あと11日間になりました。

終業式「校長挨拶」では、「心に残る言葉」「生徒の皆さんの頑張りの」「冬季休業中の生活」の3つについて、話をしました。

あと11日後には令和4年1月1日を迎えます。皆さんには、一年の冒頭にあたり夢や目標を明確にしてほしいと思えます。皆さんには、「若さ」と「限りない可能性」があります。新年に誓った「夢を叶える」「目標を達成する」ために、自分の限界を自分で決めず、あきらめることなく精一杯取り組んでください。

それでは、良い年を迎えてください。

そして、1月11日（火）には元気に登校してきてください。